

鹿沼市学校施設の 長寿命化計画

令和 7 年 3 月

鹿沼市教育委員会

— 鹿沼市学校施設の長寿命化計画 —

目 次

第 1 章	学校施設の長寿命化計画の背景・目的等	3
1	背景	4
2	目的	4
3	計画期間	5
4	計画の位置づけ	5
5	対象施設	5
第 2 章	学校施設の目指すべき姿	7
1	学校施設の目指すべき姿	8
第 3 章	学校施設の実態	9
1	学校施設の運営状況・活用状況等の実態	10
(1)	対象施設一覧	10
(2)	児童生徒数及び学級数の変化	11
(3)	学校施設の配置状況	12
(4)	施設関連経費の推移	13
(5)	学校施設の保有量	14
(6)	今後の維持・更新コスト（従来型）の試算	15
2	学校施設の老朽化状況の実態	16
(1)	構造躯体の健全性の評価及び 構造躯体以外の劣化状況等の評価	16
ア	構造躯体の健全性の評価	16
イ	構造躯体以外の劣化状況等の評価	18
ウ	建物ごとの構造躯体の健全性 及び構造躯体以外の評価一覧	24
(2)	学校プールの実態	28
ア	学校プールの配置及び利用状況	28
イ	学校プールの老朽化状況	30

第4章	学校施設整備の基本的な計画方針	31
1	学校施設の規模・配置計画等の方針	32
(1)	鹿沼市公共施設等総合管理計画の基本方針	32
(2)	学校施設の長寿命化計画の基本方針	35
ア	学校施設の長寿命化	35
イ	学校の適正配置	35
ウ	プールの方針	35
(3)	学校施設の規模・配置計画等の方針	36
2	改修等の基本的な方針	37
(1)	長寿命化の方針	37
(2)	目標使用年数、改修周期の設定	37
3	基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準等	38
(1)	改修等の整備水準	38
(2)	維持管理の項目・手法等	38
第5章	長寿命化の実施計画	39
1	改修等の優先順位付けと実施計画	40
2	長寿命化のコストの見通し、長寿命化の効果	42
第6章	長寿命化計画の継続的運用方針	43
1	情報基盤の整備と活用	44
2	推進体制等の整備	44
3	フォローアップ	44
資料編		45
用語の解説		46

第 1 章

学校施設の長寿命化計画の

背景・目的等

1 背景

本市の学校施設は、小学校 24 校、中学校 10 校の計 34 校となっています。そのうち、築 30 年を経過した校舎や屋内運動場が約 76%を占め、文部科学省が建て替えの基準としている「築 40 年以上」の施設は、校舎では全体の約 45%、屋内運動場では全体の約 36%となるなど、施設の老朽化が進んでいます。

(令和 7 年 3 月 31 日現在)

これまでは、建物の耐震性の確保を最優先課題として取り組み、令和 2 年度に耐震化率 100%を達成しました。今後は、施設の老朽化に伴う給排水設備の漏水や電気設備の故障、校舎や屋内運動場の雨漏りへの対応などが緊急の課題となっています。

また、地球温暖化に伴う熱中症対策やコロナ禍での生活環境の変化など、子どもたちを取り巻く社会環境の変化に対応するため、教室や屋内運動場へのエアコンの整備やトイレの洋式化も課題となっています。

今後、上記の課題を解決するための改修工事の実施や、財政負担を抑えながら施設を出来るだけ長期間使用するための長寿命化工事を計画的に進め、安全で快適な教育環境の整備を図っていく必要があります。

2 目的

「鹿沼市学校施設の長寿命化計画（以下、本計画という。）」は、建物の長寿命化を図ることによってライフサイクルコストの縮減、財政負担の平準化、これまでの対処療法的な維持管理から予防保全的な維持管理への転換を図り、建物の使用年数向上を図ることを目的として策定します。



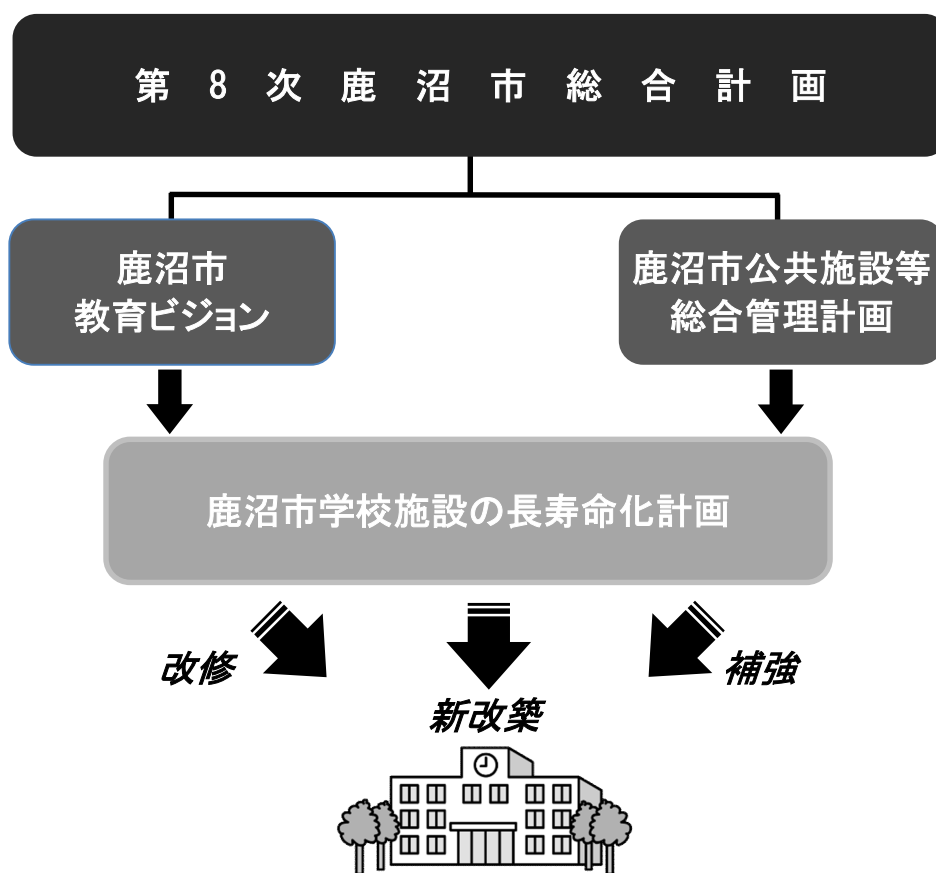
3 計画期間

本計画は、令和2（2020）年度から令和11（2029）年度の10年間を計画期間とし、計画期間内であっても必要に応じて適宜見直すものとします。

4 計画の位置づけ

本計画は、第8次鹿沼市総合計画を最上位計画とし、学校施設を対象に具体的な管理計画を定めます。

また、鹿沼市教育ビジョン及び鹿沼市公共施設等総合管理計画との連携を図ることにより、学校施設の改修について、より具体性を持たせた計画となります。



5 対象施設

本計画における対象施設数は以下のとおりとします。

学校施設	
小学校	24校
中学校	10校
合計	34校

（対象施設一覧はP10～11）

第2章

学校施設の目指すべき姿

1 学校施設の目指すべき姿

本市では以下の5つの項目を教育目標としています。

鹿沼市教育目標

- 1 人間性豊かで、思いやりのある市民を育む
- 2 教養を高め、多様な価値観を認め合う市民を育む
- 3 郷土を知り、豊かな郷土づくりに励む市民を育む
- 4 人権を尊び、平和な社会を築く市民を育む
- 5 自然を愛し、環境を守る市民を育む

〈第2次鹿沼市教育ビジョン（令和4年3月）参照〉

本ビジョンは、「学びから 未来を拓く ひとづくり」を基本理念とし、「学校教育」「教育環境」「生涯学習・青少年育成・文化振興」「スポーツ」に係る4つの分野において鹿沼市教育目標の達成を目指します。

「教育環境」の基本目標としては、「次代につなぐ教育環境の充実」を掲げ、基本施策の一つである「教育施設の充実」の実現に向け、学校施設の目指すべき姿を以下に示します。

目指すべき姿	具体例
①安全性 ・耐震性を備えた学校施設 ・防災機能を備えた学校施設 ・防犯体制の充実した学校施設	・校舎、屋内運動場の耐震補強 ・フィルム等によるガラス飛散防止措置 ・学校まわりの困障（門扉・フェンス）の整備
②快適性 ・学習及び生活の場としての良好な環境 ・障がいのある児童生徒に配慮した環境	・トイレの洋式化 ・エアコンの設置 ・手摺り、スロープ等の整備
③学習活動への適応性 ・学力をより効果的に育成するためのICT環境	・教育用パソコン及びソフトウェア整備 ・超高速インターネット及び無線LANの整備
④地域の拠点化 ・避難所としての機能を備えた環境 ・バリアフリーの充実した環境	・避難所建物の耐震性の確保 ・非構造部材の耐震化 ・多目的トイレの整備 ・手摺り、スロープ等の整備

第 3 章

学校施設の実態

1 学校施設の運営状況・活用状況等の実態

(1) 対象施設一覧

小学校

(令和6年5月1日現在)

学校名		住所	建築 年度	延床 面積 (㎡)	児童生徒数 (人)		学級数 (学級)	
					普通	特別 支援	普通	特別 支援
1	中央小学校	今宮町 1624	H22	7,462	321	11	12	2
2	東小学校	東末広町 1082	S51	9,405	745	21	26	4
3	西小学校	上日向 606	S47	3,724	154	6	6	2
4	北小学校	泉町 2457	S10	5,974	331	19	12	3
5	菊沢東小学校	仁神堂町 530	S52	5,531	261	14	12	3
6	菊沢西小学校	見野 75	H2	3,848	71	2	6	1
7	石川小学校	上石川 1344	S59	3,474	132	15	6	3
8	津田小学校	深津 1390	S63	5,212	133	5	6	2
9	池ノ森小学校	池ノ森 757-1	H1	3,204	23	0	3	0
10	さつきが丘小学校	茂呂 1086-5	S50	7,690	578	34	19	6
11	みどりが丘小学校	西茂呂 3-7-19	H4	6,626	412	23	15	5
12	北押原小学校	縦山町 82	S57	5,584	384	32	14	6
13	加園小学校	加園 2800	H6	3,396	34	1	3	1
14	板荷小学校	板荷 2775	S62	3,369	38	1	4	1
15	南摩小学校	油田町 1000	S62	3,377	61	5	5	2
16	上南摩小学校	上南摩町 732	H1	3,322	14	0	3	0
17	南押原小学校	磯町 117	S51	3,255	33	1	4	1
18	榆木小学校	榆木町 70-2	S48	2,849	56	2	5	1
19	みなみ小学校	南上野町 503	S56	4,194	114	12	6	3
20	栗野小学校	口栗野 802	H26	3,816	74	4	6	1
21	清洲第一小学校	久野 620-1	S53	2,537	34	3	4	1
22	清洲第二小学校	北半田 1515	S60	2,010	35	0	4	0
23	永野小学校	上永野 310	S48	2,435	19	0	3	0
24	粕尾小学校	下粕尾 1444-1	S40	2,296	32	0	4	0

※建築年度は最も古い建物（校舎、屋内運動場）の建築年を採用

中学校

(令和6年5月1日現在)

学校名	住所	建築年度	延床面積 (m ²)	児童生徒数 (人)		学級数 (学級)	
				普通	特別支援	普通	特別支援
1 東中学校	府中町 393	H13	11,528	720	33	22	5
2 西中学校	日吉町 527	H16	11,458	305	15	11	2
3 北中学校	武子 708	S49	7,098	347	21	11	5
4 北犬飼中学校	上石川 1573	S49	5,571	204	14	8	3
5 北押原中学校	樅山町 297	S61	6,178	276	10	10	2
6 加蘇中学校	加園 1841	S54	3,277	24	1	3	1
7 板荷中学校	板荷 2675	S55	3,190	33	4	3	1
8 南摩中学校	西沢町 1414	S53	3,438	36	6	3	2
9 南押原中学校	磯町 1085	S60	4,461	68	6	3	2
10 粟野中学校	口粟野 1160	H14	9,384	102	6	4	3

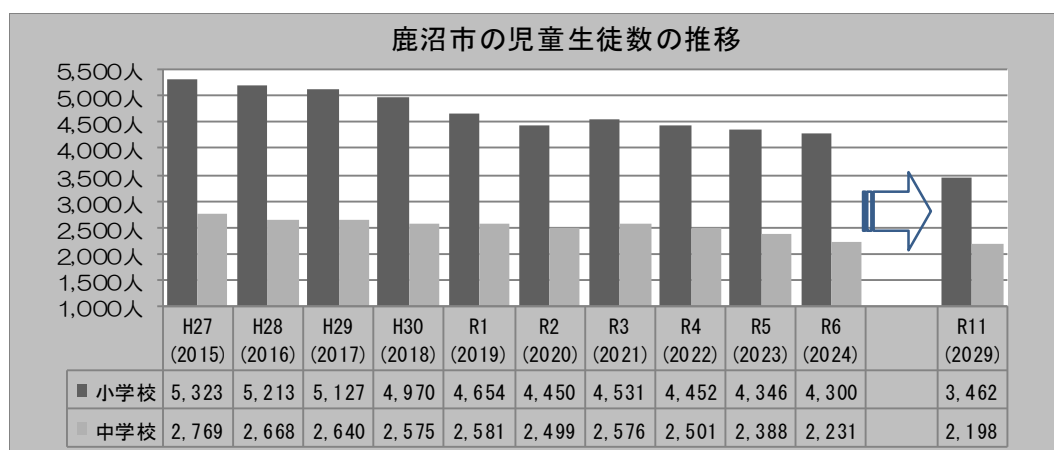
※建築年度は最も古い建物（校舎、屋内運動場）の建築年を採用

本市には、小学校 24 校、中学校 10 校の合計 34 校の学校施設があります。
小学校全体の延床面積は 104,590 m²、中学校全体の延床面積は 65,583 m²、
小中学校を合わせた延床面積は 170,173 m²となります。

(2) 児童生徒数及び学級数の変化

令和6(2024)年5月1日現在の本市の児童生徒数は、小学校 4,300 人、
中学校 2,231 人の合計 6,531 人となっています。

今後の児童生徒数の推計は、令和11(2029)年度には、小学校 3,462 人、
中学校 2,198 人の計 5,660 人になるものと予測され、令和6(2024)年度から
令和11(2029)年度までの減少率は、小学校 19.5%、中学校 1.5%と見込ま
れます。



※鹿沼市教育委員会事務局調べ

(3) 学校施設の配置状況

本市は面積が 490.64 平方キロメートルで、首都東京からおよそ 100 キロメートル、栃木県の南西部に位置しています。東北縦貫自動車道やＪＲ日光線、東武日光線が通っており、広域交通の要衝として、高い地理的優位性を有しています。

小中学校は、市の中心部や幹線道路沿いに多く配置されています。小規模校については、市の中心部から離れたところに配置されている学校が多く、平成 28（2016）年度には上粕尾小学校、平成 29（2017）年度には西大芦小学校、平成 30（2018）年度には久我小学校が閉校となりました。

学校規模の適正化や学校適正配置については、令和 6 年 11 月に策定した「鹿沼市立小中学校再編計画」により、令和 6 年度から令和 10 年度までを前期実施プラン、令和 11 年度から令和 15 年度までを後期実施プランとして学校再編を図ります。



(4) 施設関連経費の推移

施設関連経費は以下の表のとおりです。

「施設整備費」は、教育環境の向上を目的に実施する施設整備工事、校舎・屋内運動場などの学校施設に係る経費です。

「その他施設整備費」は、建物に結び付かない事業費や、実施年が決まっていない単独事業の経費です。

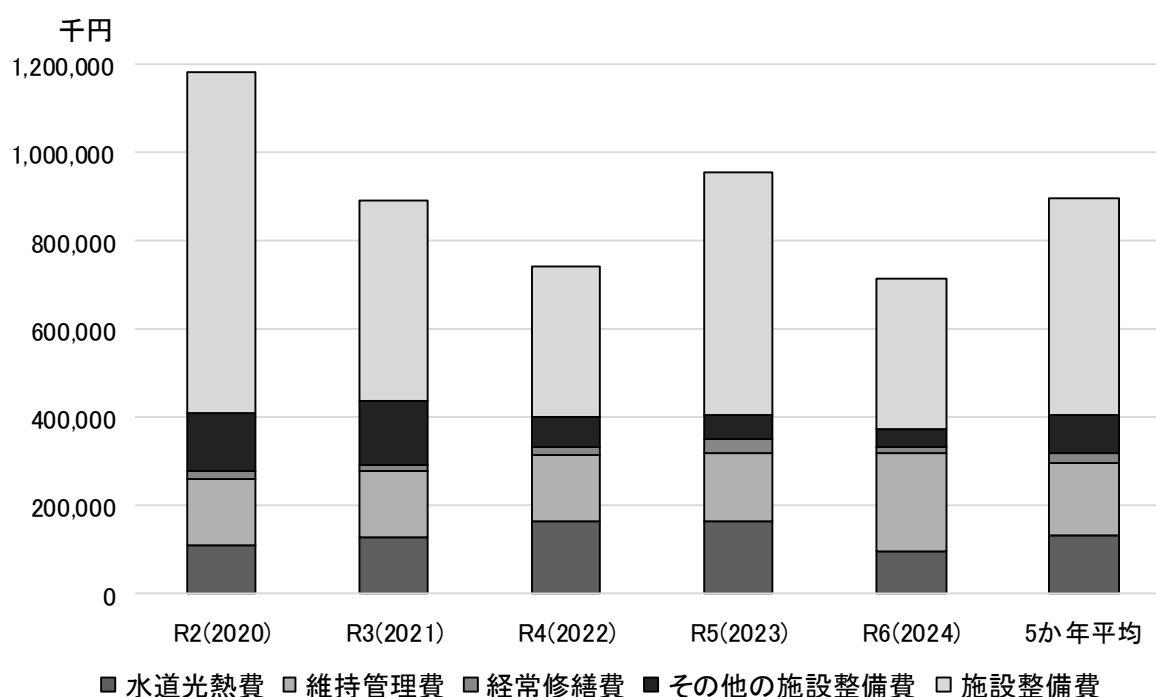
「経常修繕費」は、各学校における修繕や少額の改修及び部品交換など、日常的に発生する軽微な不具合対応の経費です。

「維持管理費」は、日常的な管理費、清掃費、保守点検費など、施設運営に関する経費です。

「光熱水費」は、電気・ガス・水道などの経費です。

単位(千円)

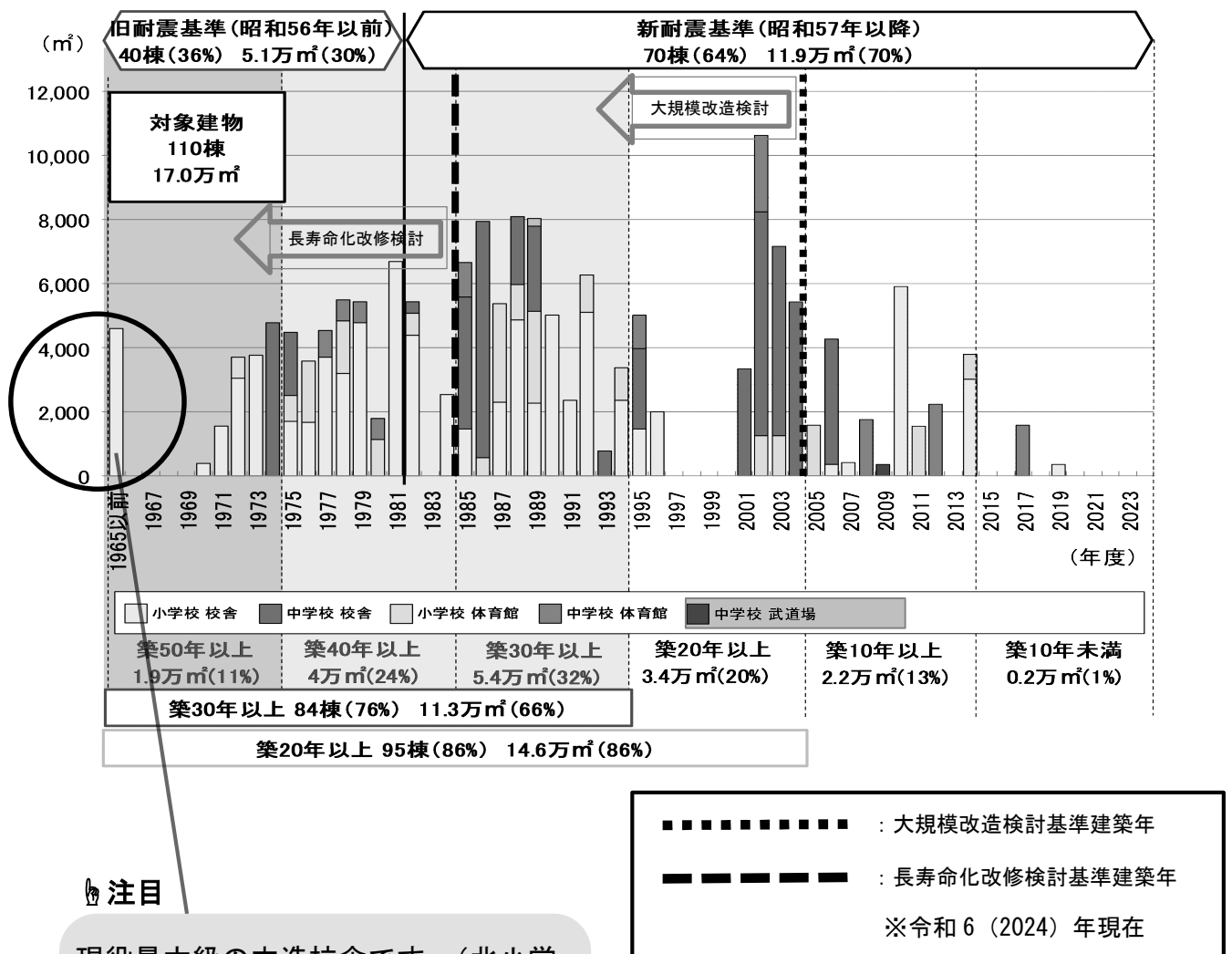
年度	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	5 か年平均
施設整備費	773,786	451,626	342,466	553,855	342,881	492,923
その他の施設整備費	130,890	146,147	69,418	51,876	39,699	87,606
経常修繕費	18,495	16,036	17,435	30,677	11,678	18,864
維持管理費	147,642	150,016	148,402	156,102	225,971	165,627
光熱水費	111,679	126,936	165,280	165,288	95,061	132,848
計	1,182,492	890,761	743,001	957,798	715,290	897,868



図：施設関連経費の推移

(5) 学校施設の保有量

計画対象となる建物を小中学校計 110 棟、17.0 万㎡保有しています。そのうち大規模改造の検討基準となる築 20 年以上の建物が 95 棟 (86%)、14.6 万㎡ (86%) を占めています。また、長寿命化改修の検討基準とする築 40 年以上の建物については 46 棟 (42%)、5.9 万㎡ (35%) を占めています。
(改修等の基本的方針は P37 参照)



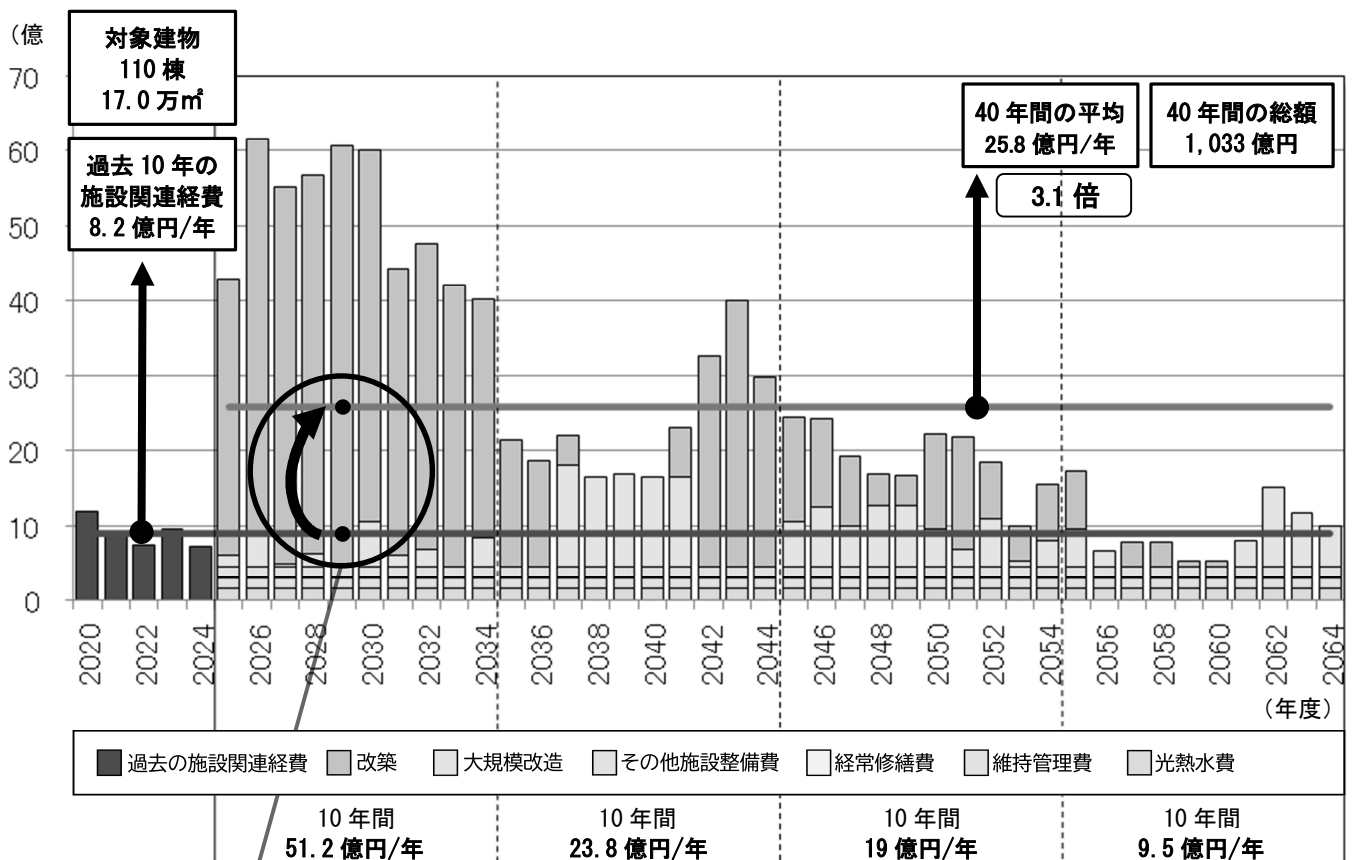
注目

現役最大級の木造校舎です。(北小学校)
H30(2018)年度からR2(2020)年度で耐震補強及び大規模改造を実施しました。

図：築年別整備状況

(6) 今後の維持・更新コスト（従来型）の試算

従来の修繕・改修を今後も続けた場合、40年間で1,033億円（1年あたり25.8億円）のコストがかかると考えられます。これは過去の施設関連経費の平均値である8.2億円/年のおよそ3.1倍です。従来型の建替え中心で施設整備を進めていくのは、財政的にも不可能であるため、コストの平準化を図るため施設の長寿命化整備を検討する必要があります。



図：今後の維持・更新コスト（従来型）

👉 注目

従来型の整備では、過去の施設関連経費3.1倍になってしまいます。昭和後期から平成初期に建築された建物が改築時期を一斉にむかえることが主な要因です。

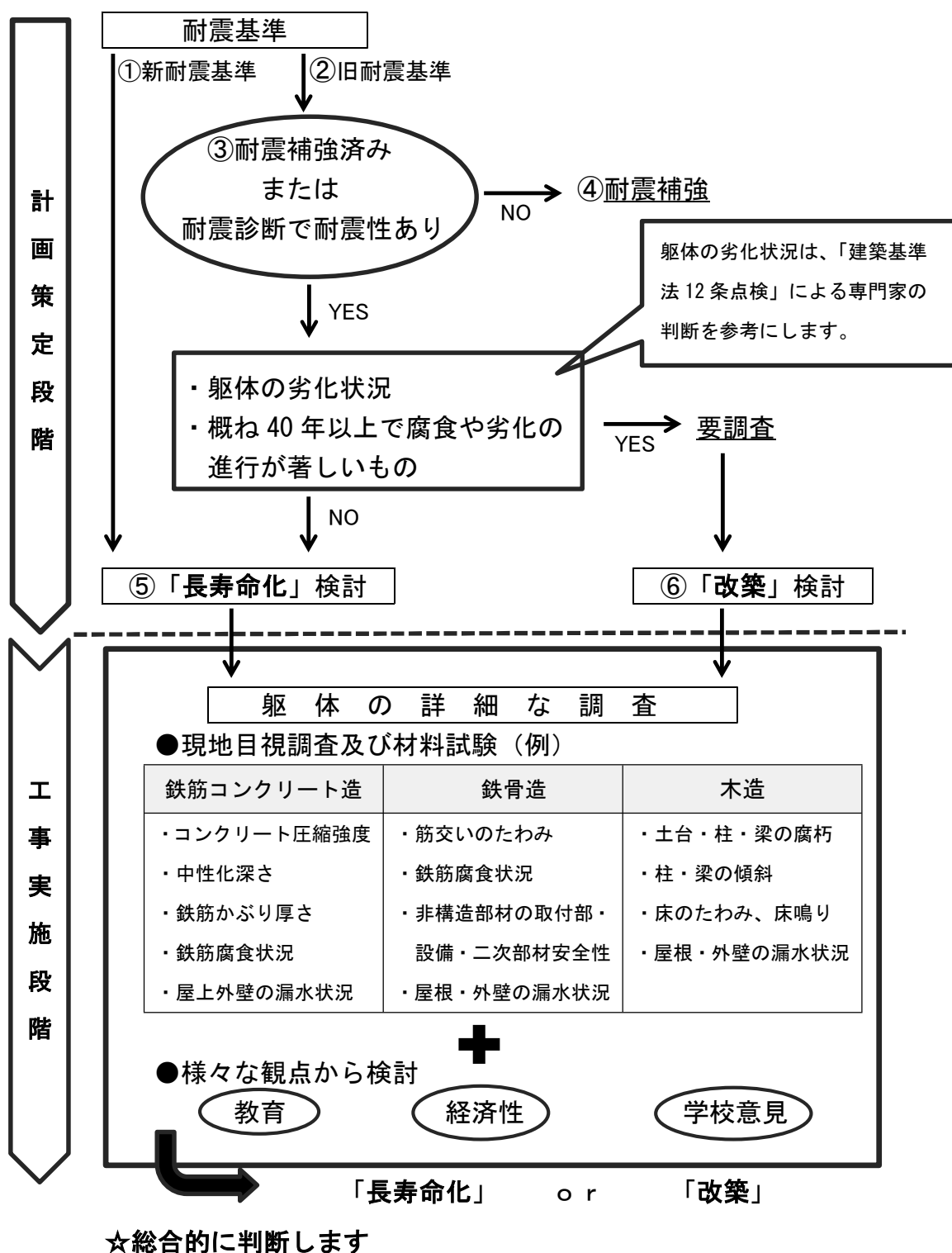
2 学校施設の老朽化状況の実態

(1) 構造躯体の健全性の評価及び構造躯体以外の劣化状況等の評価

ア 構造躯体の健全性の評価

(ア) 長寿命化判定フロー

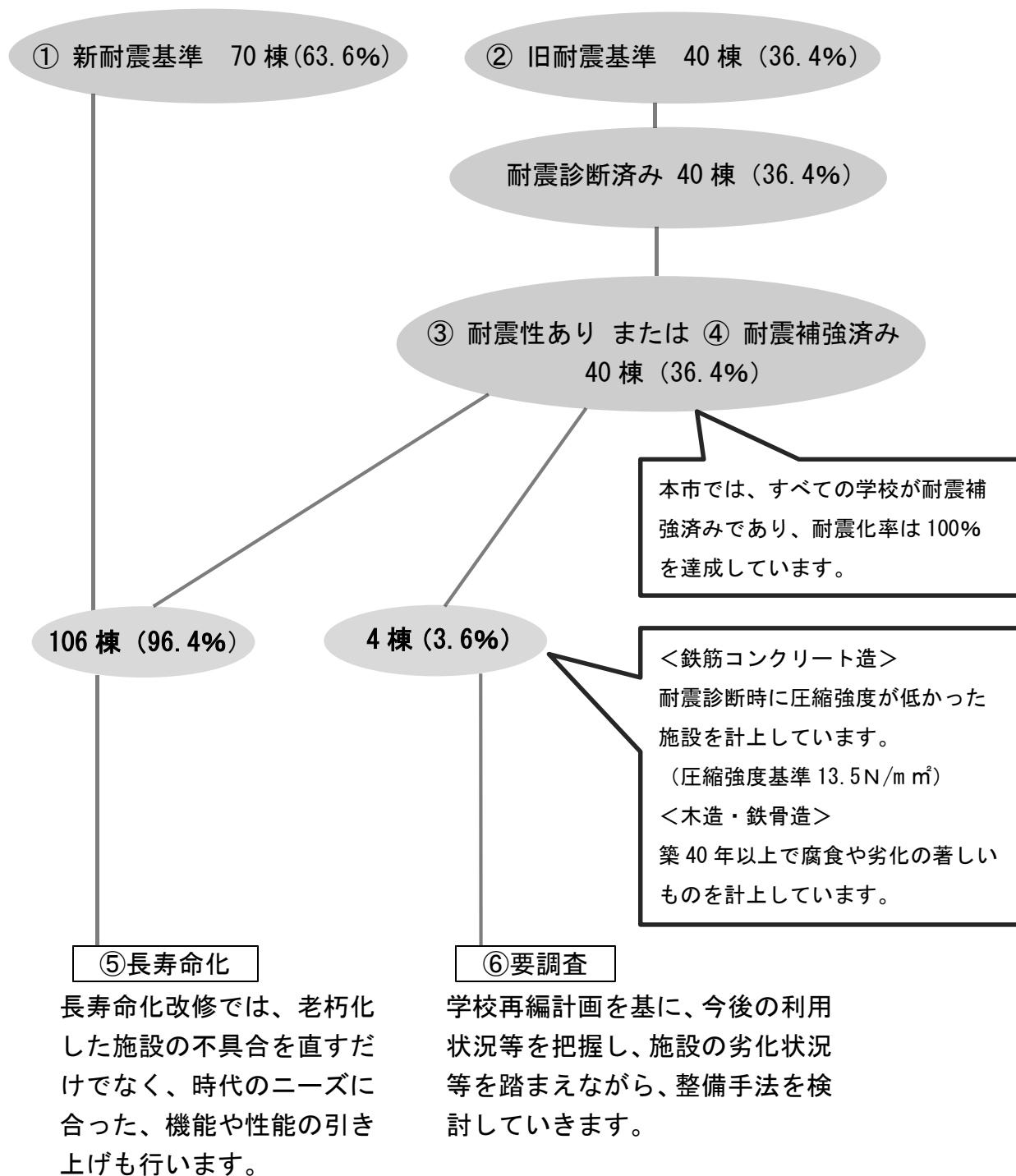
以下のフローに従って、建物ごとの長寿命化改修の可否を判断します。



(イ) 構造躯体の健全性の評価

P16 の長寿命化判定フローに従い、長寿命化計画策定段階における構造躯体の健全性を評価します。

対象建物：110 棟



イ 構造躯体以外の劣化状況等の評価

(ア) 調査・評価方法

目視による点検、及び建築基準法第 12 条に基づく定期点検により部位ごとの劣化状況を A、B、C、D の 4 段階で評価します。評価基準は以下のとおりとします。

○目視による評価【屋根・屋上、外壁】

	評価	基準
	A	概ね良好
	B	部分的に劣化（安全上、機能上、問題なし）
	C	広範囲に劣化 （安全上、機能上、不具合発生の兆し）
	D	早急に対応する必要がある （安全上、機能上、問題あり） （躯体の耐久性に影響を与えている） （設備が故障し施設運営に影響を与えている）

○経過年数による評価

【内部仕上、電気設備、機械設備】

	評価	基準
	A	20 年未満
	B	20～40 年
	C	40 年以上
	D	経過年数に関わらず著しい劣化事象がある場合

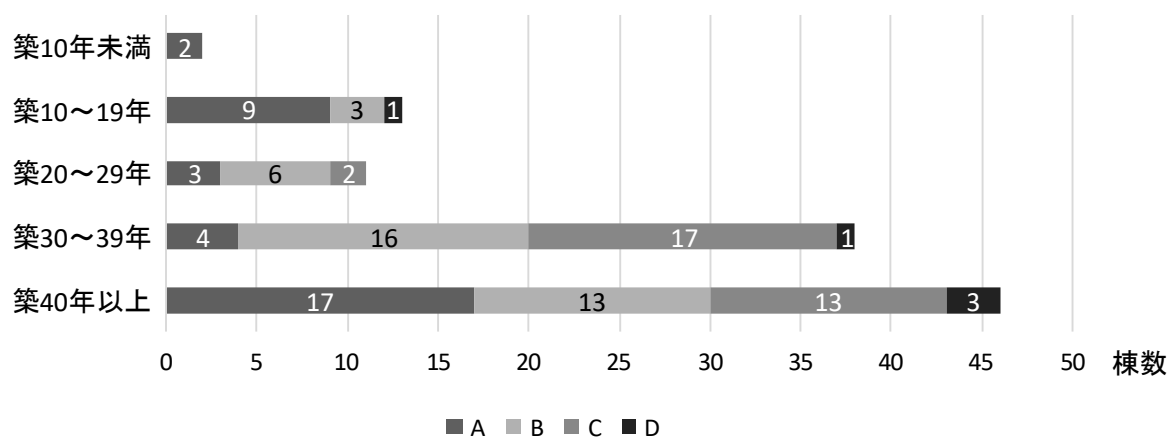
(イ) 構造躯体以外の劣化状況等の評価

築年数	棟数	健全度（100 点満点）					
		<39	40～49	50～59	60～69	70～79	80<
<10	2	－	－	－	－	－	2
10～19	13	－	－	－	－	－	13
20～29	11	－	－	－	2	9	－
30～39	38	－	－	4	24	9	1
40<	46	19	8	3	7	－	9
計	110	7	10	12	14	35	32

※建物ごとの評価等については P24～27

※健全度の算定法については P27

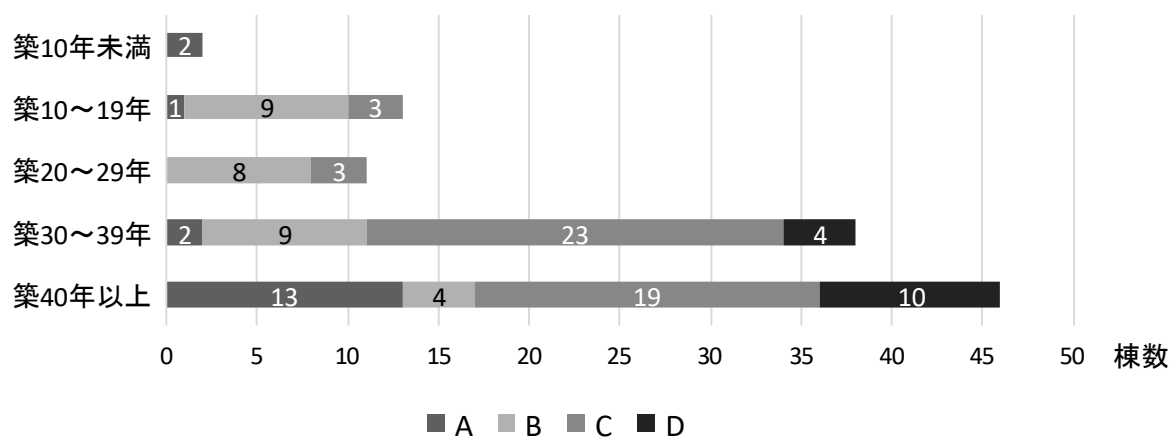
a 屋根・屋上の劣化状況



築30年を超えるとC評価の棟数が増加します。屋上防水の剥がれやふくらみ、金属屋根のさびが見受けられる学校があります。この劣化によって、雨漏りをしてしまう学校があります。



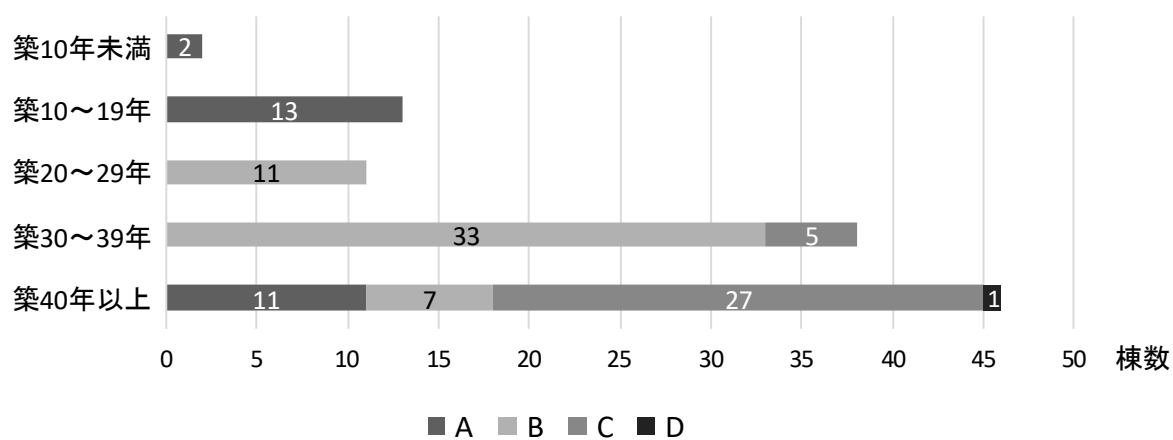
b 外壁の劣化状況



築30年を超えると、C評価の棟数が増加します。外壁に使われている木材の色落ちや腐食、また、ひびや浮きが多く、多くの学校で見受けられます。外壁のひびから雨漏りをしている学校もあります。



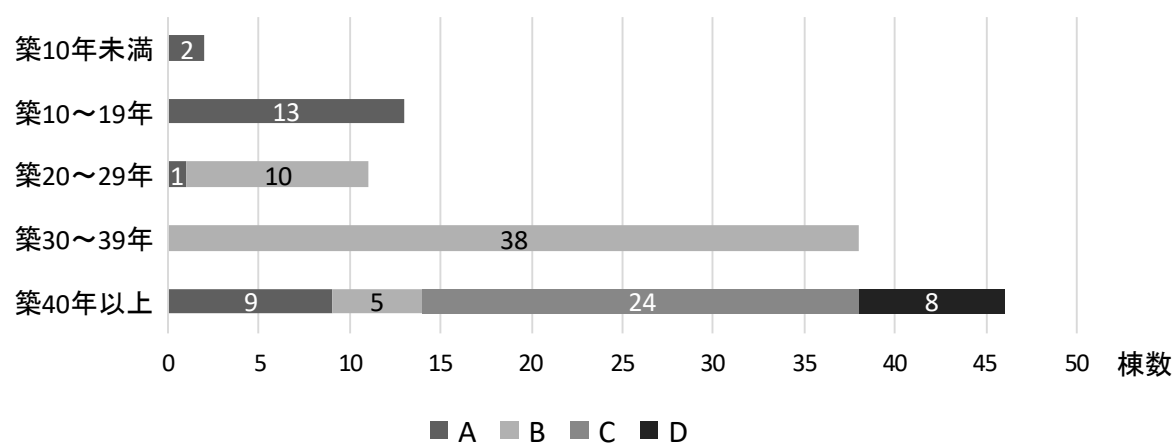
c 内部仕上の劣化状況



築40年を超えると、C評価の棟数が増加します。屋上防水の劣化による雨漏りで、天井に汚れや腐食が見られます。また、内壁のひびは多くの学校でも見受けられ、床仕上のはがれが進んでいる学校があります。



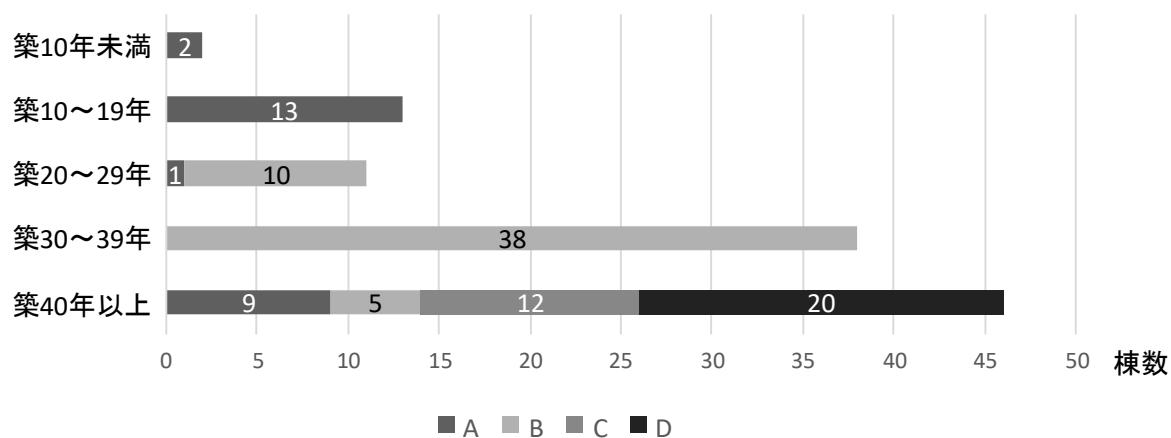
d 電気設備の劣化状況



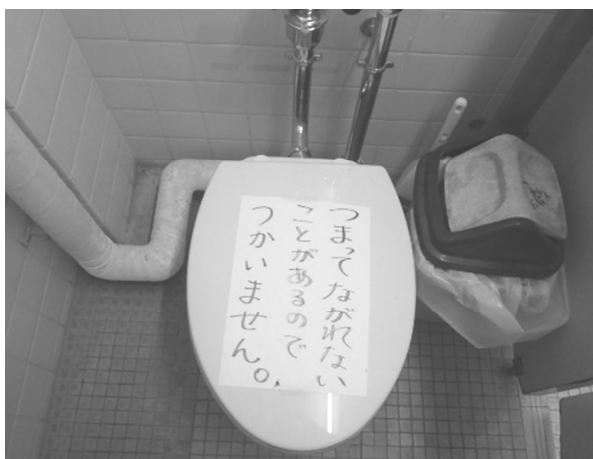
照明器具やコンセントの経年劣化による破損や、キュービクルの塗装がはがれている学校があります。また、放送器具等の弱電設備も、経年劣化による故障が出てきているので、計画的に更新をする必要があります。



e 機械設備の劣化状況



築40年を超えると、C評価及びD評価の棟数が増加します。排水が悪く使えないトイレを有する学校や、トイレ内が悪臭もする学校もあるため、計画的な給排水設備の改修が必要です。



ウ 建物ごとの構造躯体の健全性及び構造躯体以外の評価一覧

構造躯体の健全性の評価及び構造躯体以外の劣化状況の調査・評価方法（P16～18）に従って、建物ごとに評価した結果を以下に示します。

（令和 7 年 3 月 31 日現

建物基本情報										構造躯体の健全性						劣化状況評価						
番号	施設名	建物名	用途区分		構造	階数	延床面積 (㎡)	建築年度		築年数	耐震安全性			長寿命化判定			屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度 (100点満点)
			学校種別	建物用途				西暦	和暦		基準	診断	補強	調査年度	圧縮強度 (N/mm)	試算上の 区分						
1	中央小学校	校舎	小学校	校舎	S	2	5,904	2010	H22	14	新	不要	不要			長寿命	A	B	A	A	A	94
2	中央小学校	屋内運動場	小学校	体育館	W	2	1,558	2011	H23	13	新	不要	不要			長寿命	A	B	A	A	A	94
3	東小学校	屋内運動場	小学校	体育館	S	2	1,043	1976	S51	48	旧	済	済			長寿命	A	A	A	A	A	100
4	東小学校	校舎1	小学校	校舎	RC	3	4,788	1979	S54	45	旧	済	済	2009	29.6	長寿命	A	A	C	C	C	57
5	東小学校	校舎2	小学校	校舎	RC	3	3,574	1981	S56	43	旧	済	済	2009	22.5	長寿命	A	A	C	C	C	57
6	西小学校	校舎1	小学校	校舎	RC	2	1,837	1972	S47	52	旧	済	済	2008	28.3	長寿命	C	D	C	C	D	26
7	西小学校	校舎2	小学校	校舎	RC	2	1,217	1972	S47	52	旧	済	済	2012	28.7	長寿命	B	C	C	C	D	35
8	西小学校	屋内運動場	小学校	体育館	S	1	670	1972	S47	52	旧	済	済			長寿命	A	A	A	A	A	100
9	北小学校	校舎1	小学校	校舎	W	2	2,270	1935	S10	89	旧	済	済			長寿命	A	A	A	A	A	100
10	北小学校	校舎2	小学校	校舎	W	2	2,142	1935	S10	89	旧	済	済			長寿命	A	A	A	A	A	100
11	北小学校	校舎3	小学校	校舎	W	2	396	1970	S45	54	旧	済	済			長寿命	A	A	A	A	A	100
12	北小学校	屋内運動場	小学校	体育館	S	1	796	1975	S50	49	旧	済	済			長寿命	A	B	A	A	A	94
13	北小学校	校舎4	小学校	校舎	RC	2	370	2019	R元	5	新	不要	不要			長寿命	A	A	A	A	A	100
14	菊沢東小学校	校舎1	小学校	校舎	RC	3	2,309	1977	S52	47	旧	済	済	2010	28.8	長寿命	C	C	C	D	D	28
15	菊沢東小学校	校舎2	小学校	校舎	RC	3	1,395	1977	S52	47	旧	済	不要	2010	27.1	長寿命	C	C	C	D	D	28
16	菊沢東小学校	武道場	小学校	武道場	W	1	255	1989	H元	35	新	不要	不要			長寿命	A	A	B	B	B	82
17	菊沢東小学校	屋内運動場	小学校	体育館	W	2	1,572	2005	H17	19	新	不要	不要			長寿命	A	B	A	A	A	94
18	菊沢西小学校	校舎1	小学校	校舎	RC	3	2,240	1990	H2	34	新	不要	不要			長寿命	C	C	B	B	B	65
19	菊沢西小学校	校舎2	小学校	校舎	S	1	362	1990	H2	34	新	不要	不要			長寿命	B	B	B	B	B	75
20	菊沢西小学校	屋内運動場	小学校	体育館	W	2	1,246	2003	H15	21	新	不要	不要			長寿命	A	C	B	B	B	69
21	石川小学校	校舎1	小学校	校舎	RC	2	2,098	1984	S59	40	新	不要	不要			長寿命	C	C	B	B	B	65
22	石川小学校	校舎2	小学校	校舎	RC	2	434	1984	S59	40	新	不要	不要			長寿命	C	C	B	B	B	65
23	石川小学校	屋内運動場	小学校	体育館	W	1	942	1987	S62	37	新	不要	不要			長寿命	A	B	B	B	B	77
24	津田小学校	校舎1	小学校	校舎	RC	3	2,518	1988	S63	36	新	不要	不要			長寿命	C	C	C	B	B	54
25	津田小学校	校舎2	小学校	校舎	RC	2	1,448	1995	H7	29	新	不要	不要			長寿命	A	B	B	B	B	77
26	津田小学校	屋内運動場	小学校	体育館	W	2	1,246	2002	H14	22	新	不要	不要			長寿命	A	B	B	B	B	77
27	池ノ森小学校	校舎	小学校	校舎	RC	3	2,256	1989	H元	35	新	不要	不要			長寿命	B	C	C	B	B	56
28	池ノ森小学校	屋内運動場	小学校	体育館	RC	1	948	1989	H元	35	新	不要	不要			長寿命	C	C	B	B	B	65

建物基本情報											構造躯体の健全性						劣化状況評価						
番号	施設名	建物名	用途区分		構造	階数	延床面積 (㎡)	建築年度		築年数	耐震安全性			長寿命化判定			屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度 (100点満点)	
			学校種別	建物用途				西暦	和暦		基準	診断	補強	調査年度	圧縮強度 (N/mm)	試算上の 区分							
29	さつきが丘小学校	校舎1	小学校	校舎	RC	3	1,705	1975	S50	49	旧	済	済	2009	31.5	長寿命	B	D	C	D	C	31	
30	さつきが丘小学校	校舎2	小学校	校舎	RC	2	1,675	1976	S51	48	旧	済	済	2009	26	長寿命	B	D	C	D	C	31	
31	さつきが丘小学校	屋内運動場	小学校	体育館	S	1	1,084	1978	S53	46	旧	済	済			長寿命	A	A	A	A	A	100	
32	さつきが丘小学校	校舎3	小学校	校舎	RC	3	1,355	1978	S53	46	旧	済	済	2009	36	長寿命	B	D	C	D	C	31	
33	さつきが丘小学校	校舎4	小学校	校舎	RC	2	661	1978	S53	46	旧	済	済	2009	29.3	長寿命	B	D	C	D	C	31	
34	さつきが丘小学校	校舎5	小学校	校舎	RC	3	1,210	1978	S53	46	旧	済	済	2009	25.8	長寿命	B	D	C	D	C	31	
35	みどりが丘小学校	校舎1	小学校	校舎	RC	3	4,875	1992	H4	32	新	不要	不要			長寿命	C	C	B	B	B	65	
36	みどりが丘小学校	校舎2	小学校	校舎	S	1	240	1992	H4	32	新	不要	不要			長寿命	A	A	C	B	B	71	
37	みどりが丘小学校	校舎3	小学校	校舎	RC	3	362	2006	H18	18	新	不要	不要			長寿命	A	C	A	A	A	86	
38	みどりが丘小学校	屋内運動場	小学校	体育館	RC	1	1,149	1992	H4	32	新	不要	不要			長寿命	B	C	B	B	B	67	
39	北押原小学校	校舎1	小学校	校舎	RC	3	2,408	1982	S57	42	新	不要	不要			長寿命	C	C	C	C	C	40	
40	北押原小学校	校舎2	小学校	校舎	RC	2	1,981	1982	S57	42	新	不要	不要			長寿命	C	C	C	C	C	40	
41	北押原小学校	屋内運動場	小学校	体育館	S	2	1,195	1987	S62	37	新	不要	不要			長寿命	C	C	B	B	B	65	
42	加国小学校	校舎1	小学校	校舎	RC	3	2,036	1994	H6	30	新	不要	不要			長寿命	C	C	B	B	B	65	
43	加国小学校	校舎2	小学校	校舎	RC	1	316	1994	H6	30	新	不要	不要			長寿命	C	B	B	B	B	73	
44	加国小学校	屋内運動場	小学校	体育館	S	1	1,044	1994	H6	30	新	不要	不要			長寿命	C	C	B	B	B	65	
45	板荷小学校	屋内運動場	小学校	体育館	S	1	948	1987	S62	37	新	不要	不要			長寿命	B	B	B	B	B	75	
46	板荷小学校	校舎	小学校	校舎	RC	3	2,421	1990	H2	34	新	不要	不要			長寿命	D	D	B	B	B	56	
47	南摩小学校	校舎	小学校	校舎	RC	3	2,280	1987	S62	37	新	不要	不要			長寿命	C	C	B	B	B	65	
48	南摩小学校	屋内運動場	小学校	体育館	S	2	1,097	1988	S63	36	新	不要	不要			長寿命	C	B	B	B	B	73	
49	上南摩小学校	屋内運動場	小学校	体育館	S	1	983	1989	H元	35	新	不要	不要			長寿命	B	C	B	B	B	67	
50	上南摩小学校	校舎	小学校	校舎	RC	3	2,339	1991	H3	33	新	不要	不要			長寿命	B	D	B	B	B	60	
51	南押原小学校	屋内運動場	小学校	体育館	S	1	891	1976	S51	48	旧	済	済			長寿命	A	A	A	C	D	69	
52	南押原小学校	校舎1	小学校	校舎	W	2	459	1988	S63	36	新	不要	不要			長寿命	B	C	B	B	B	67	
53	南押原小学校	校舎2	小学校	校舎	RC	2	435	1988	S63	36	新	不要	不要			長寿命	B	C	B	B	B	67	
54	南押原小学校	校舎3	小学校	校舎	W	2	485	1988	S63	36	新	不要	不要			長寿命	B	C	B	B	B	67	
55	南押原小学校	校舎4	小学校	校舎	RC	2	985	1988	S63	36	新	不要	不要			長寿命	B	C	B	B	B	67	
56	榎木小学校	校舎1	小学校	校舎	RC	2	988	1973	S48	51	旧	済	済	1995	21.5	長寿命	C	C	B	B	B	65	
57	榎木小学校	校舎2	小学校	校舎	RC	1	217	1973	S48	51	旧	済	不要	1995	26.5	長寿命	C	C	B	B	B	65	
58	榎木小学校	校舎3	小学校	校舎	RC	3	684	1973	S48	51	旧	済	済	1995	21.8	長寿命	C	C	B	B	B	65	
59	榎木小学校	屋内運動場	小学校	体育館	W	1	960	1989	H元	35	新	不要	不要			長寿命	C	C	B	B	B	65	
60	みなみ小学校	校舎1	小学校	校舎	RC	2	1,325	1981	S56	43	旧	済	済	2011	24.9	長寿命	C	C	C	C	C	40	
61	みなみ小学校	校舎2	小学校	校舎	RC	2	1,780	1981	S56	43	旧	済	不要	2011	22.2	長寿命	C	C	C	C	C	40	
62	みなみ小学校	屋内運動場	小学校	体育館	S	1	680	1982	S57	42	新	不要	不要			長寿命	D	C	C	C	C	38	
63	みなみ小学校	校舎3	小学校	校舎	S	2	409	2007	H19	17	新	不要	不要			長寿命	A	A	A	A	A	100	

建物基本情報										構造躯体の健全性						劣化状況評価						
番号	施設名	建物名	用途区分		構造	階数	延床面積 (㎡)	建築年度		築年数	耐震安全性			長寿命化判定			屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度 (100点満点)
			学校種別	建物用途				西暦	和暦		基準	診断	補強	調査年度	圧縮強度 (N/mm)	試算上の 区分						
64	粟野小学校	校舎1	小学校	校舎	W	2	1,998	2014	H26	10	新	不要	不要			長寿命	A	B	A	A	A	94
65	粟野小学校	校舎2	小学校	校舎	W	2	1,036	2014	H26	10	新	不要	不要			長寿命	A	B	A	A	A	94
66	粟野小学校	屋内運動場	小学校	体育館	W	1	782	2014	H26	10	新	不要	不要			長寿命	A	B	A	A	A	94
67	清洲第一小学校	屋内運動場	小学校	体育館	S	1	540	1978	S53	46	旧	済	済			要調査	A	B	C	C	D	44
68	清洲第一小学校	校舎	小学校	校舎	RC	2	1,997	1996	H8	28	新	不要	不要			長寿命	B	B	B	B	B	75
69	清洲第二小学校	校舎	小学校	校舎	RC	2	1,448	1985	S60	39	新	不要	不要			長寿命	C	C	C	B	B	54
70	清洲第二小学校	屋内運動場	小学校	体育館	S	1	562	1986	S61	38	新	不要	不要			長寿命	B	C	B	B	B	67
71	永野小学校	校舎	小学校	校舎	RC	2	1,874	1973	S48	51	旧	済	済	2010	19	長寿命	A	C	C	C	D	36
72	永野小学校	屋内運動場	小学校	体育館	S	1	561	1980	S55	44	旧	済	不要			要調査	D	C	C	C	D	31
73	粕尾小学校	校舎1	小学校	校舎	W	1	191	1965	S40	59	旧	済	不要			要調査	D	C	D	C	D	21
74	粕尾小学校	校舎2	小学校	校舎	RC	2	1,544	1971	S46	53	旧	済	済	2006	21	長寿命	C	C	C	C	D	32
75	粕尾小学校	屋内運動場	小学校	体育館	S	1	561	1980	S55	44	旧	済	済			要調査	B	C	B	C	D	46
76	東中学校	校舎1	中学校	校舎	RC	5	3,373	2001	H13	23	新	不要	不要			長寿命	B	B	B	B	B	75
77	東中学校	校舎2	中学校	校舎	RC	4	5,911	2003	H15	21	新	不要	不要			長寿命	B	B	B	B	B	75
78	東中学校	屋内運動場	中学校	体育館	S	2	2,244	2012	H24	12	新	不要	不要			長寿命	A	B	A	A	A	94
79	西中学校	校舎1	中学校	校舎	S	2	5,423	2004	H16	20	新	不要	不要			長寿命	B	C	B	A	A	77
80	西中学校	校舎2	中学校	校舎	S	2	1,904	2006	H18	18	新	不要	不要			長寿命	B	C	A	A	A	85
81	西中学校	校舎3	中学校	校舎	S	2	2,028	2006	H18	18	新	不要	不要			長寿命	B	C	A	A	A	85
82	西中学校	屋内運動場	中学校	体育館	W	2	1,752	2008	H20	16	新	不要	不要			長寿命	B	B	A	A	A	93
83	西中学校	武道場	中学校	武道場	S	1	351	2009	H21	15	新	不要	不要			長寿命	D	B	A	A	A	89
84	北中学校	校舎1	中学校	校舎	RC	4	3,427	1974	S49	50	旧	済	済	2009	18.1	長寿命	A	A	C	D	D	46
85	北中学校	屋内運動場	中学校	体育館	S	2	845	1977	S52	47	旧	済	済			長寿命	A	A	A	A	A	100
86	北中学校	校舎2	中学校	校舎	RC	4	739	1985	S60	39	新	不要	不要			長寿命	A	B	C	B	B	65
87	北中学校	校舎3	中学校	校舎	RC	2	2,087	1988	S63	36	新	不要	不要			長寿命	B	C	B	B	B	67
88	北大飼中学校	校舎1	中学校	校舎	RC	2	773	1974	S49	50	旧	済	済	1996	17.7	長寿命	B	C	C	C	D	35
89	北大飼中学校	校舎2	中学校	校舎	RC	2	591	1974	S49	50	旧	済	済	1996	18	長寿命	B	D	C	C	D	28
90	北大飼中学校	校舎3	中学校	校舎	S	1	377	1975	S50	49	旧	済	不要	1996	14.8	長寿命	B	D	C	C	D	28
91	北大飼中学校	校舎4	中学校	校舎	S	1	370	1975	S50	49	旧	済	不要			長寿命	A	B	C	C	D	44
92	北大飼中学校	校舎5	中学校	校舎	RC	2	1,247	1975	S50	49	旧	済	不要	1996	16.5	長寿命	B	D	C	C	D	28
93	北大飼中学校	校舎6	中学校	校舎	RC	2	381	1982	S57	42	新	不要	不要			長寿命	B	D	C	C	D	28
94	北大飼中学校	屋内運動場	中学校	体育館	S	1	1,044	1985	S60	39	新	不要	不要			長寿命	C	B	B	B	B	73
95	北大飼中学校	校舎7	中学校	校舎	RC	2	301	1993	H5	31	新	不要	不要			長寿命	B	D	B	B	B	60
96	北大飼中学校	校舎8	中学校	校舎	RC	2	487	1993	H5	31	新	不要	不要			長寿命	B	D	B	B	B	60
97	北押原中学校	校舎	中学校	校舎	RC	3	4,589	1986	S61	38	新	不要	不要			長寿命	B	C	B	B	B	67
98	北押原中学校	屋内運動場	中学校	体育館	S	1	1,589	2017	H29	7	新	不要	不要			長寿命	A	A	A	A	A	100

建物基本情報										構造躯体の健全性						劣化状況評価						
番号	施設名	建物名	用途区分		構造	階数	延床面積 (㎡)	建築年度		築年数	耐震安全性			長寿命化判定			屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度 (100点満点)
			学校種別	建物用途				西暦	和暦		基準	診断	補強	調査年度	圧縮強度 (N/mm)	試算上の 区分						
99	加蘇中学校	屋内運動場	中学校	体育館	S	1	653	1979	S54	45	旧	済	済		長寿命	B	B	B	C	D	54	
100	加蘇中学校	校舎	中学校	校舎	RC	3	2,624	1989	H元	35	新	不要	不要		長寿命	B	B	B	B	B	75	
101	板荷中学校	屋内運動場	中学校	体育館	S	1	653	1980	S55	44	旧	済	済		長寿命	A	A	A	C	D	69	
102	板荷中学校	校舎	中学校	校舎	RC	3	2,537	1995	H7	29	新	不要	不要		長寿命	C	C	B	B	B	65	
103	南摩中学校	屋内運動場	中学校	体育館	S	1	650	1978	S53	46	旧	済	済		長寿命	A	A	A	A	A	100	
104	南摩中学校	校舎	中学校	校舎	RC	2	2,788	1986	S61	38	新	不要	不要		長寿命	C	C	B	B	B	65	
105	南押原中学校	校舎1	中学校	校舎	RC	2	2,143	1985	S60	39	新	不要	不要		長寿命	C	C	B	B	B	65	
106	南押原中学校	校舎2	中学校	校舎	RC	2	287	1985	S60	39	新	不要	不要		長寿命	C	B	B	B	B	73	
107	南押原中学校	校舎3	中学校	校舎	RC	3	980	1985	S60	39	新	不要	不要		長寿命	C	C	B	B	B	65	
108	南押原中学校	屋内運動場	中学校	体育館	S	1	1,051	1995	H7	29	新	不要	不要		長寿命	B	B	B	B	B	75	
109	粟野中学校	校舎	中学校	校舎	RC	3	6,971	2002	H14	22	新	不要	不要		長寿命	C	B	B	B	B	73	
110	粟野中学校	屋内運動場	中学校	体育館	RC	2	2,413	2002	H14	22	新	不要	不要		長寿命	B	B	B	B	B	75	

○健全度の算定について

①部位の評価点

	評価点
A	100
B	75
C	40
D	10

②部位のコスト配分

部位	コスト配分
1 屋根・屋上	4.2
2 外壁	14.9
3 内部仕上げ	21.3
4 電気設備	9.0
5 機械設備	16.6
計	66

③健全度

総和（部位の評価点 × 部位のコスト配分） ÷ 66

(2) 学校プールの実態

ア 学校プールの配置及び利用状況

プールが設置されている学校は、小学校 20 校、中学校 8 校の計 28 校です。そのうち利用していないプールが残っている学校は 8 校となっています。

小学校

(令和 7 年 3 月 31 日現在)

学 校 名 \ 区 分		設置年度	代替対応		備考
			代替施設	切替年度	
1	中央小学校	設 置 無 し	民間プール	平成 20 年度	平成 20 年度プール解体
2	東小学校	昭和 45 年度			
3	西小学校	昭和 48 年度			
4	北小学校	昭和 61 年度	市民プール	令和 4 年度	
5	菊沢東小学校	昭和 52 年度	運動公園	平成 25 年度	
6	菊沢西小学校	昭和 53 年度			
7	石川小学校	昭和 38 年度	運動公園	平成 25 年度	令和 2 年度プール解体
8	津田小学校	昭和 59 年度			
9	池ノ森小学校	平成 2 年度	運動公園	令和 6 年度	
10	さつきが丘小学校	昭和 51 年度	民間プール	平成 23 年度	
11	みどりが丘小学校	平成 5 年度			
12	北押原小学校	昭和 44 年度	運動公園	平成 25 年度	
13	加園小学校	平成 8 年度			
14	板荷小学校	平成 9 年度			
15	南摩小学校	平成 10 年度			
16	上南摩小学校	昭和 62 年度	運動公園	平成 27 年度	
17	南押原小学校	平成 7 年度			
18	楡木小学校	昭和 49 年度			
19	みなみ小学校	昭和 55 年度			
20	栗野小学校	平成 7 年度			
21	清洲第一小学校	平成 16 年度			
22	清洲第二小学校	－			スポーツ振興課管理
23	永野小学校	－			スポーツ振興課管理
24	粕尾小学校	平成 4 年度			

中学校

(令和 7 年 3 月 31 日現在)

学 校 名		設置年度	代替対応		備考
			代替施設	切替年度	
1	東中学校	昭和 43 年度			
2	西中学校	設 置 無 し	運動公園	平成 18 年度	平成 18 年度プール解体
3	北中学校	昭和 46 年度	運動公園	平成 25 年度	
4	北犬飼中学校	昭和 53 年度			
5	北押原中学校	設 置 無 し	運動公園	平成 25 年度	平成 27 年度プール解体
6	加蘇中学校	昭和 45 年度	運動公園	平成 21 年度	
7	板荷中学校	昭和 59 年度			
8	南摩中学校	昭和 45 年度			
9	南押原中学校	昭和 45 年度			
10	栗野中学校	平成 15 年度			

プールが設置されかつ利用している学校

プールが設置されているが、使用不可の学校

プールが設置されていない学校

他課管理のプールを利用している学校

○プールの集約化について

本市では、老朽化が著しく、修繕・改修に多大な費用を費やすプールについては、他校、民間等のプールを利用しています。移動費・利用費を考慮しても、修繕等をするより、経費を抑えられるメリットがあるからです。

ただし、児童・生徒数が多い大規模校については、代替プールを利用すると、修繕等をするよりも移動費等の経費がかかってしまいます。このような学校については、今後も修繕を行うことにより、学校プールを継続利用していきます。

イ 学校プールの老朽化状況

プールを利用している学校の一部では、老朽化によるプールの給水管及び排水管の破損、防水シートの劣化及び塗装の剥がれ、ろ過機や滅菌器の不良等があります。そのため、毎年プールの利用前、または利用後の修繕が必須となっています。

また、プール利用がない学校でも、長年使われていないプールが残っています。学校敷地を有効活用するため、また防犯、安全確保、景観の観点から、解体を計画的に進めていく必要があります。



第 4 章

学校施設整備の基本的な計画方針

1 学校施設の規模・配置計画等の方針

(1) 鹿沼市公共施設等総合管理計画の基本方針

鹿沼市公共施設等総合管理計画の基本方針及び施設類型別方針【小中学校】は以下のとおりです。

適正配置・更新にかかる基本方針

1 施設の総量抑制

- ・施策に基づく新たな施設の整備を進めるとともに、既存の施設について、利用目的や利用率など、その施設の在り方を精査し、統合や廃止等を推進することで、全体として施設の総量抑制に努め、施設の維持管理費及び更新費の抑制を推進します。

2 「施設の維持」から「機能の維持」へ

- ・施設の更新については、単純に「施設の維持」をするのではなく、統廃合・複合化等により機能を集約することで、「機能の維持」だけでなく「利用率」の向上を目指します。

3 施設分類別に検討し、計画の推進は市民と議論しながら

- ・単純に施設削減を進めるのではなく、施設配置・更新について、公共性や必要性、市民ニーズなどを踏まえ、市民との議論・対話を重視して推進します。特に、施設の大きな割合を占める“学校”や“市営住宅”について、適正配置を推進します。

4 地域単位で、機能を維持した施設の適正化を検討

- ・施設分類ごとに検証した結果を横断的に検証し、“地域単位”や“面”での整備を検討することで、市全体におけるバランスを図り、機能を維持しながら適正化を検討します。

5 PPP/PFI、指定管理、民間提案制度など民間活力の導入

- ・全ての施設について、PPP/PFIや指定管理者制度など、民間活力の導入の検討を進めます。鹿沼市公共施設等民間提案制度や、鹿沼市PPP/PFI手法導入優先的規程に基づき、効率的かつ効果的な施設の整備や運営、行政サービスの提供に努めます。

施設の管理に関する基本的な考え方

1 点検・診断等の実施方針

- ・簡易点検マニュアル等による施設点検を適切に行います。
- ・施設の状態や対策履歴等の情報を記録し、結果を蓄積することで状況を把握し、必要な対策を適切な時期に、効率的かつ効果的に実施するための基礎としていきます。

2 維持管理・修繕・更新等の実施方針

- ・重要度、公共性、劣化状況等、長期的視点で優先度をつけ、計画的に施設の更新を実施します。特に、庁舎、消防、クリーンセンターは、行政サービスの根幹に係る主要施設であり、災害時の防災拠点としても代替が困難であることから、必要な投資を行い、求められる性能の維持・向上を図ります。
- ・維持管理や修繕に関する情報を蓄積するとともに、新しい技術や考え方を積極的に取り入れ、維持管理・修繕・更新等を合理的に進めます。
- ・更新に際し、施設の集約や複合化など、中長期的な視点で施設の適正化を図ります。

3 安全確保の実施方針

- ・点検・診断等によって危険性が認められた施設については、早急に対策を行い、施設を安全な状態で維持することに努めます。
- ・防災拠点かどうかや、多数の利用があるか等の視点から対策の優先度を検討します。
- ・維持が困難な施設は、安全確保の観点から早期廃止等適切な措置をとっていきます。

4 耐震化の実施方針

- ・鹿沼市建築物耐震改修促進計画に基づき、耐震改修未実施施設の耐震化を進めます。

5 長寿命化の実施方針

- ・インフラ施設を含め、施設の個別施設計画等に基づく長寿命化を推進します。
- ・早期の健全度把握と、予防的な修繕、省エネルギー化等によりライフサイクルコスト縮減を図ります。

6 ユニバーサルデザイン化の実施方針

- ・施設の修繕や更新等が必要となった際には、障害の有無や年齢、性別、人種等に係らず誰もが安全・安心に施設を利用できるよう、バリアフリー化やユニバーサルデザイン化に努めます。

7 未利用資産等の活用や処分に関する実施方針

- ・未利用資産や統廃合等により用途を廃止する施設については、解体による除却の検討だけでなく、積極的な売却や貸付けを行い、民間事業者の資金やノウハウの導入等により、資産活用の最適化及び維持管理費の削減に努めます。

8 脱炭素化に係る実施方針

- ・施設の更新や建設にあたっては、省エネルギー化や再生可能エネルギーの導入などの地球温暖化対策に努め、「鹿沼市気候非常事態宣言」に基づく脱炭素化の取組を推進します。

公共施設等総合管理計画の施設分類別方針【小中学校】

少子化等の影響により、児童・生徒数は減少の一途であり、今後も減少が続くと予測されます。小中学校適正配置等基本計画に基づき統廃合等の取組を進めるとともに、学校施設の長寿命化計画に基づいて計画的に長寿命化を図ります。

〈鹿沼市公共施設等総合管理計画（平成28年3月）参照〉

(2) 学校施設の長寿命化計画の基本方針

鹿沼市公共施設等総合管理計画を踏まえ、本計画の基本方針を以下のとおりとします。

ア 学校施設の長寿命化

耐震化が完了したこれからは、建物の長寿命化対策や快適な教育環境の確保が課題です。具体的には、校舎や屋内運動場の外壁や屋上の防水改修、給排水設備改修、電気設備改修、トイレの洋式化、エアコンの設置等の大規模な改修を計画的に進め、安全で快適な教育環境の整備をしていきます。

イ 学校の適正配置

少子化の更なる進行が想定される中、学校規模の適正化や学校の適正配置は、将来にわたって継続的に検討することが必要である重要な課題です。児童生徒の保護者の声を重視しつつ、当該地域住民の意向や地域の実情を尊重し、地域における共通理解や合形成のうえ、丁寧な議論・協議により、それぞれのケースに応じて鹿沼市小中学校適正配置等基本計画に基づき検討していきます。

ウ プールの方針

プールについては老朽化が進み、維持管理や施設更新の際に多額の費用が見込まれます。プール機能の集約化をするため、利用人数や状況及び地理的条件を考慮し、プール拠点校及び単独利用校を決定していきます。使用していないプールについては解体、今後も使用予定のプールについては改修を検討します。

～学校施設の改修事例～

外装（外壁・屋上）改修 改修前



改修後

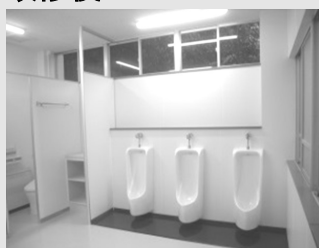


- ・外壁・屋上の防水改修

給排水設備（トイレ）改修 改修前



改修後



- ・トイレの洋式化
- ・乾式化
- ・壁・天井・照明・給排水管等の改修

(3) 学校施設の規模・配置計画等の方針

鹿沼市における適正規模

〈小学校〉6 学級～18 学級

〈中学校〉3 学級～18 学級（1 学級 16 人以上、全校 48 人以上）

※いずれも特別支援学級は除きます。

※適正規模を超える学校を「大規模校」、適正規模に満たない学校を「小規模校」として捉えます。

○学級数による学校規模の分類

（令和 6 年 5 月 1 日現在）

	小 学 校	中 学 校
小規模校	池ノ森小、加園小、板荷小、南摩小、 上南摩小、南押原小、楡木小、清洲第一小、 清洲第二小、永野小、粕尾小	加蘇中、板荷中、 南摩中
適正規模校	中央小、北小、西小、菊沢東小、菊沢西小、 石川小、津田小、みどりが丘小、北押原小、 みなみ小、栗野小	西中、北中、北犬飼中、 北押原中、南押原中、 栗野中
大規模校	東小、さつきが丘小	東中

鹿沼市の小中学校の適正配置の実施手法

- ・小規模校については、近隣の学校との統合により適正規模を確保します。
- ・大規模校については、出生数の減少により、将来的に解消が見込まれることから、今後の児童生徒数の推移を見ながら、検討していきます。
- ・統合に伴い、通学距離及び通学時間の長くなる児童生徒には、スクールバスの導入等、通学の支援を行います。
- ・学校や地域ごとに、保護者や地域住民と丁寧な協議を進めるとともに、当該地域の意向や実情に配慮します。
- ・小中一貫校や義務教育学校などの新たな教育制度について、学校の再編に併せて、導入を検討し、より一層の教育の質の向上を目指します。
- ・統合後の学校においては、学校運営にあたり、学校、学校運営協議会、保護者、地域住民との連携・協力を一層強め、新しい学区（地域）の中心的な役割を果たせるようにするとともに、それぞれの学校がこれまで取り組んできた、地域文化の継承をはじめとする特色ある教育活動については、継続していくよう取り組んでいきます。

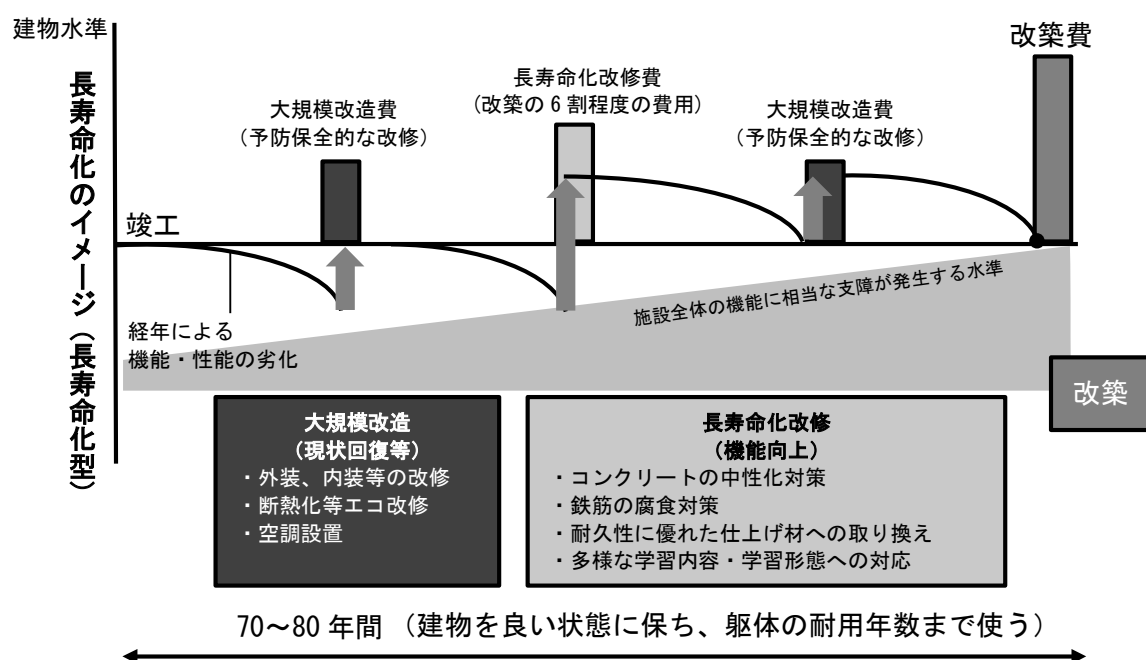
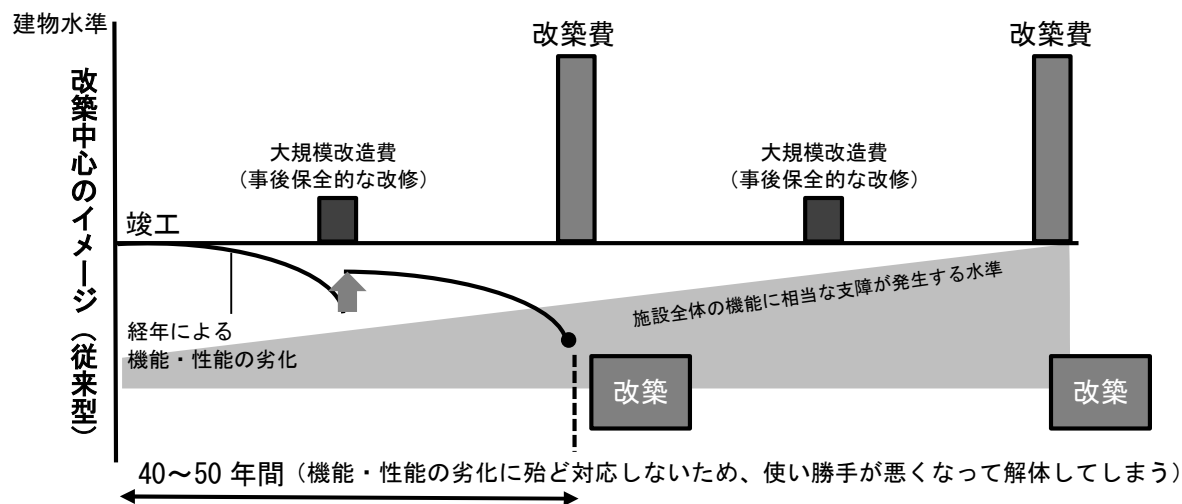
〈鹿沼市立小中学校再編計画（令和 6 年 1 1 月）参照〉

2 改修等の基本的な方針

(1) 長寿命化の方針

今後は建替えから長寿命化改修による建物の長寿命化に切り替え、機能の向上を兼ねた改修を行います。

○改築中心から長寿命化への転換イメージ



(2) 目標使用年数、改修周期の設定

	目標使用年数	大規模改造の周期	長寿命化改修の周期
校舎	80 年	築 20 年/60 年	築 40 年
体育館	80 年	築 20 年/60 年	築 40 年

(1) 改修等の整備水準

（２）維持管理の項目・手法等

通し番号													
学校名						学校番号				調査日			
建物名											記入者		
棟番号							建築年度	年度(年度)					
構造種別			延床面積	㎡		階数	地上		階	地下	階		

部位	仕様 (該当する項目にチェック)	工事履歴(部位の更新)		劣化状況 (複数回答可)	箇所数	特記事項	評価
		年度	工事内容				
1 屋根・屋上	<input type="checkbox"/> アスファルト保護防水 <input type="checkbox"/> アスファルト露出防水 <input type="checkbox"/> シート防水、塗膜防水 <input type="checkbox"/> 勾配屋根(長尺金属板、折板) <input type="checkbox"/> 勾配屋根(スレート、瓦類) <input type="checkbox"/> その他の屋根 ()			<input type="checkbox"/> 降雨時に雨漏りがある <input type="checkbox"/> 天井等に雨漏り痕がある <input type="checkbox"/> 防水層に膨れ・破れ等がある <input type="checkbox"/> 屋根葺材に錆・損傷がある <input type="checkbox"/> 笠木・立上り等に損傷がある <input type="checkbox"/> 樋やルーフィングを目視点検できない <input type="checkbox"/> 既存点検等で指摘がある			
2 外壁	<input type="checkbox"/> 塗仕上げ <input type="checkbox"/> タイル張り、石張り <input type="checkbox"/> 金属系パネル <input type="checkbox"/> コンクリート系パネル(ALC等) <input type="checkbox"/> その他の外壁 ()			<input type="checkbox"/> 鉄筋が見えているところがある <input type="checkbox"/> 外壁から漏水がある <input type="checkbox"/> 塗装の剥がれ <input type="checkbox"/> タイルや石が剥がれている <input type="checkbox"/> 大きな亀裂がある <input type="checkbox"/> 既存点検等で指摘がある			

部位	修繕・点検項目	改修・点検年度	特記事項（改修内容及び点検等による指摘事項）	評価
3 内部仕上	<input type="checkbox"/> 老朽改修			
(床・壁・天井)	<input type="checkbox"/> エコ改修			
(内部建具)	<input type="checkbox"/> トイレ改修			
(間仕切等)	<input type="checkbox"/> 法令適合			
(照明器具)	<input type="checkbox"/> 校内LAN			
(エアコン)等	<input type="checkbox"/> 空調設置			
	<input type="checkbox"/> 障害児等対策			
	<input type="checkbox"/> 防犯対策			
	<input type="checkbox"/> 構造体の耐震対策			
	<input type="checkbox"/> 非構造部材の耐震対策			
	<input type="checkbox"/> その他、内部改修工事			
4 電気設備	<input type="checkbox"/> 分電盤改修			
	<input type="checkbox"/> 配線等の敷設工事			
	<input type="checkbox"/> 昇降設備保守点検			
	<input type="checkbox"/> その他、電気設備改修工事			
5 機械設備	<input type="checkbox"/> 給水配管改修			
	<input type="checkbox"/> 排水配管改修			
	<input type="checkbox"/> 消防設備の点検			
	<input type="checkbox"/> その他、機械設備改修工事			
	<input type="checkbox"/>			
	<input type="checkbox"/>			
	<input type="checkbox"/>			
	<input type="checkbox"/>			
	<input type="checkbox"/>			

付記事項(収支上の事柄として未燃費、用燃費発生、管理燃費等)に於ける担当事項が有れば、該三部位に担当事項と記載/

38

第 5 章

長寿命化の実施計画

1 改修等の優先順位付けと実施計画

築年数及び部位修繕等を考慮した長寿命化改修の計画を以下に示します。長寿命化改修の基準周期とした40年間の計画とし、10年ごとのグループ（①～④）分けをして改修の検討を行います。また、現役最大級の木造校舎の北小学校は本市のシンボルの一つとなっています。歴史を継承していくために、延命化を図り建物を保持します（⑤）。

（令和7（2025）年～令和46（2064）年の長寿命化改修計画）

グループ		①概ね10年以内に長寿命化改修	②概ね20年以内に長寿命化改修	③概ね30年以内に長寿命化改修	④概ね40年以内に長寿命化改修	⑤延命化を図り保持する
建物		学校名	学校名	学校名	学校名	学校名
小学校	校舎	東小 西小 菊沢東小 菊沢西小 さつきが丘小 みどりが丘小 北押原小 南押原小 楡木小 みなみ小		中央小 栗野小		北小
	屋体	みどりが丘小 北押原小 南押原小 楡木小 みなみ小	菊沢西小	中央小 菊沢東小 栗野小		
中学校	校舎	北中 北押原中 南摩中 南押原中	東中 西中 栗野中			
	屋体	南摩中	南押原中 栗野中	東中 西中	北押原中	

改修の優先順位については、建物・設備等の劣化具合、改修の必要性、予算の平準化、改修の効率性等を考慮して検討、そして決定します。

本計画の当初5年（令和7（2025）年度から令和11（2029）年度）の整備計画を以下に示します。

（令和7（2025）年度～令和11（2029）年度（5か年）の整備計画）

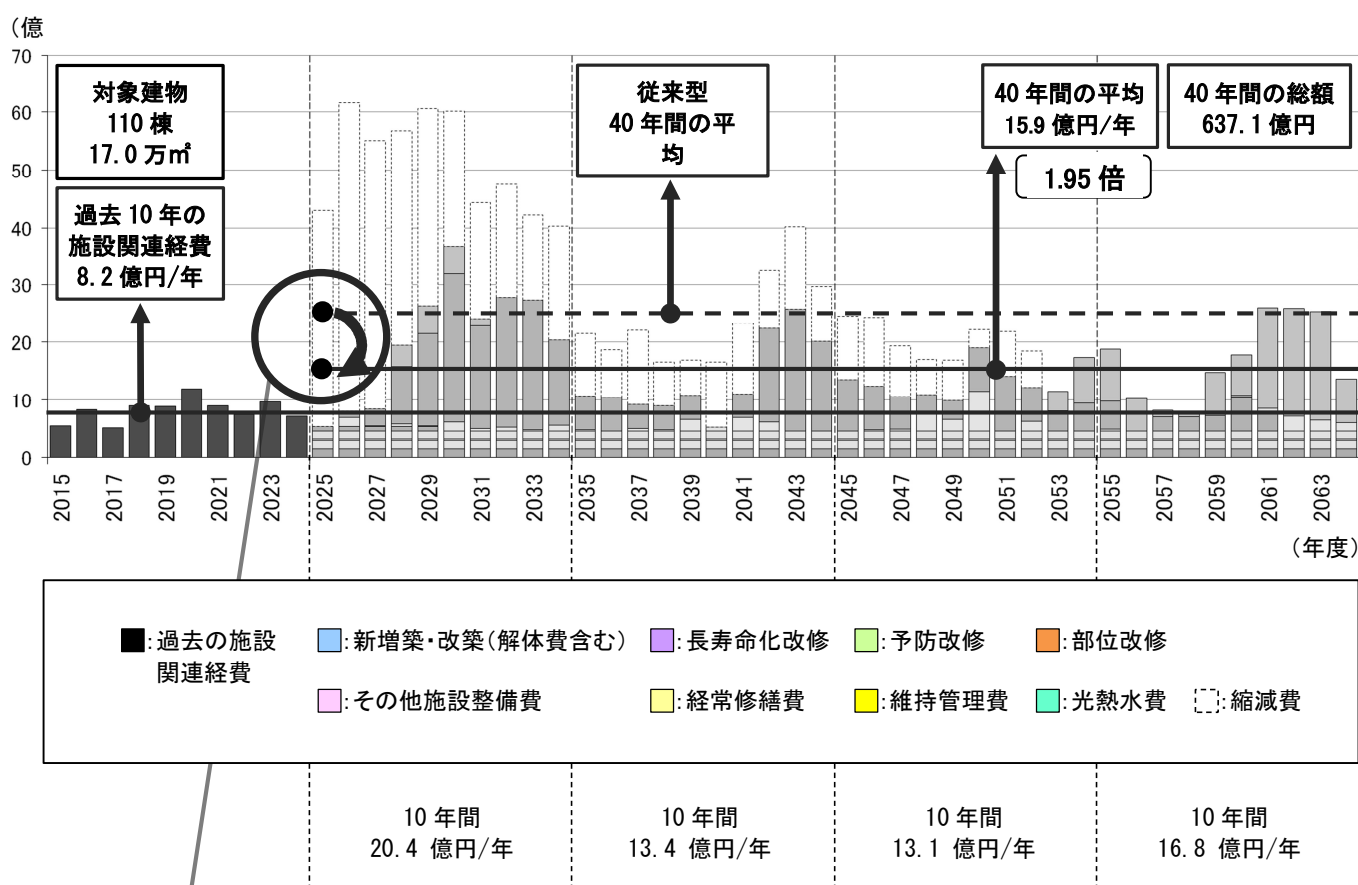
鹿沼市総合計画

事業	年度	2025（R7）		2026（R8）			
		建物名	改修箇所	建物名	改修箇所		
長寿命化改良事業				みなみ小	屋内運動場		
大規模改造事業	トイレ改修	菊沢東小（２期）	校舎	津田小（２期）	校舎		
		みどりが丘小（２期）	校舎	北犬飼中（２期）	校舎		
		津田小（１期）	校舎				
		北犬飼中（１期）	校舎				
		南摩中	校舎				
	空調設置	西小	屋内運動場	中央小	屋内運動場		
		東中	屋内運動場	東小	屋内運動場		
		西中	屋内運動場	菊沢東小	屋内運動場		
		北中	屋内運動場	さつきが丘小	屋内運動場		
		南押原中	屋内運動場	北押原小	屋内運動場		
		栗野中	屋内運動場				
事業	年度	2027（R9）		2028（R10）		2029（R11）	
		建物名	改修箇所	建物名	改修箇所	建物名	改修箇所
新築増築事業				北犬飼中	校舎	北犬飼中	校舎
						北犬飼中	屋内運動場
長寿命化改良事業		みなみ小	屋内運動場	西小	校舎	西小	校舎
		北押原小	屋内運動場	北押原小	屋内運動場	菊沢東小	校舎
				菊沢東小	校舎	さつきが丘小	校舎

- ※ 整備計画に記載されている事業について、現時点で予算が確保されているわけではありません。
- ※ 現時点の計画のため、予算状況や工事の効率性、学校運営への影響等を考慮し、適宜見直しを行います。

2 長寿命化のコストの見通し、長寿命化の効果

40年間の計画は、長寿命化による維持・更新コストの総額 637.1 億円を平準化します。従来型の整備では、40年間の総額で 1,033 億円（25.8 億円/年）かかると見込まれました（P15）が、長寿命型の改修をすることで40年間の総額を 637.1 億円（15.9 億円/年）に抑えることを可能とします。この数値は、過去の施設関連経費の1年間の平均と比較すると 1.95 倍になります。



図：今後の維持・更新コスト（長寿命型）

注目

長寿命型の整備にすると、
従来型の整備の約 5 分の 3
の経費となります。

第 6 章

長寿命化計画の継続的運用方針

1 情報基盤の整備と活用

学校施設を適切に管理していくため、過去の改修・修繕履歴や各施設の状態などを情報として蓄積し、適宜更新をします。最新情報の一元管理をするよう運営します。

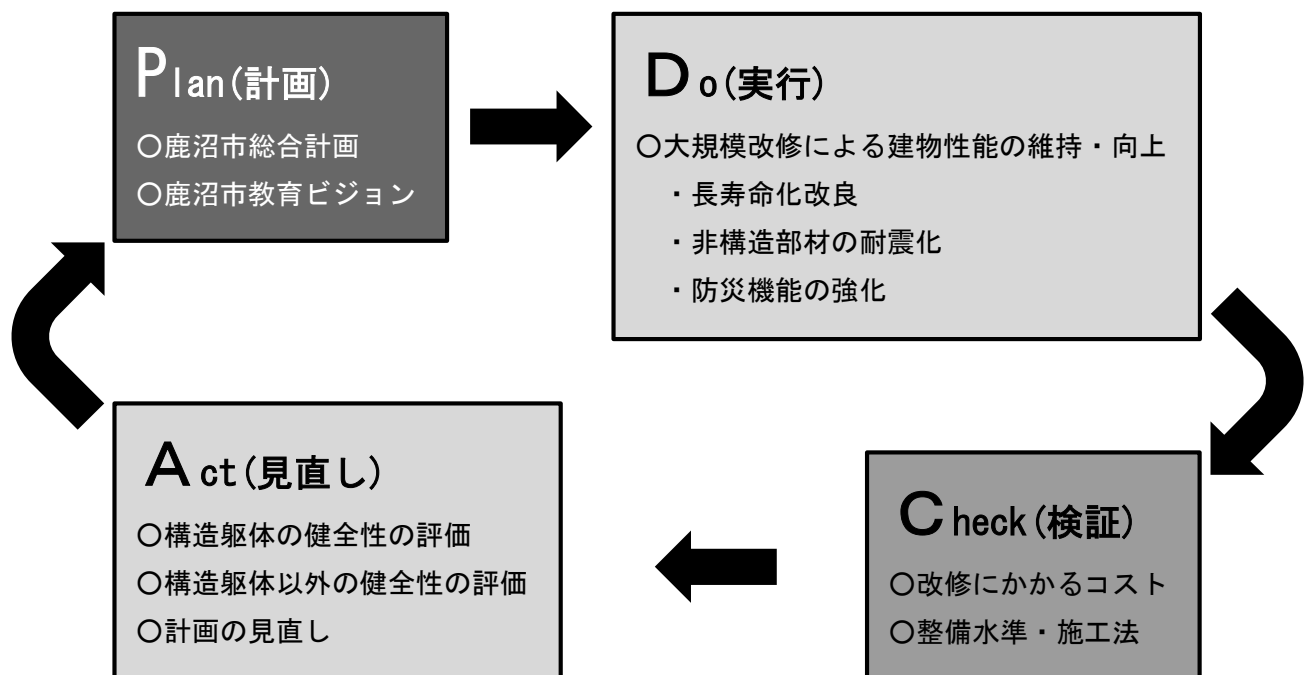
2 推進体制等の整備

学校施設の長寿命化計画を継続的に運用していくために、教育総務課を中心として、総合政策課、財政課、行政経営課等と連携し、全庁的な体制で取り組んでいくようにします。

また、学校施設の維持管理については、学校職員による日常点検や保守点検業務委託による各種点検報告書を活用して、不具合箇所の早期発見と修繕対応を図っていきます。

3 フォローアップ

PDCA サイクルを用いて、定期的な検証を実施し、進捗状況の確認と状況に応じた計画の見直しを行います。



資 料 編

用語の解説

・ イニシャルコスト

新しい建築物の建築や、新しく機械及び設備を導入する際などに稼働するまでの間に必要となる費用のことである。初期費用ともいう。

・ ライフサイクルコスト

製品や構造物などの費用を、調達・製造～使用～廃棄の段階を合計して考えたもの。生涯費用とも呼ばれる。製品や構造物等を低価格で調達、製造することができたとしても、それを使用する期間中における保守・管理、保険料、長期的な利払い、廃棄時の費用までも考慮した費用の考え方。

・ 維持補修費

校舎、体育館等建物の修繕及び維持にかかる経費のこと。

・ 施設整備費

校舎、体育館、給食室の整備にかかる経費のこと。

・ 耐震化事業費

校舎、体育館等建物及び非構造部材の耐震改修の整備にかかる経費のこと。

・ 施設関連経費

施設整備費、維持補修費、光熱水費、委託費の総計のこと。

・ 新耐震基準

昭和 56 年 6 月 1 日以降の建築確認において適用されている基準。

震度 6 強～7 程度の揺れでも倒壊しないような構造の基準として設定されている。

・ 旧耐震基準

昭和 56 年 5 月 31 日以前に建築確認において適用されている基準。

震度 5 強程度の揺れでも倒壊しないような構造基準として設定されていた。

・ 構造躯体

柱、梁、壁、基礎等、建物を支える骨組であり、構造耐力上主要な部分。

・ 非構造部材

構造躯体と区分された部材。例として、天井材、外壁（外装材）、窓・ガラス、照明器具、バスケットゴール、本棚、下足箱等がある。

・ 中性化

経年によりコンクリート内部のアルカリ成分が失われること。コンクリートの中性化が進行すると内部の鉄筋が錆びやすくなる（酸化しやすくなる）。

・ PPP

Public Private Partnership の略語。

行政と民間がパートナーを組んで事業を行うことをいう、新しい官民連携の考え方。指定管理者制度、市場化テスト、公設民営方式、さらに包括的民間委託、自治体業務のアウトソーシング等、様々な形態があり、PFI はその代表的な手法の一つである。

・ PFI

Private Finance Initiative の略語。

公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、ノウハウを活用して、公立活効果的な公共サービスの提供を図るという考え方。

海外では、有料橋、鉄道、病院、学校などの公共施設等の整備等、再開発などの分野で活用されている。

・ PDCA

Plan（計画）、Do（実行）、Check（評価）、Action（改善）の頭文字をとったものである。この4段階を繰返すことにより、業務を計画的に改善する手法。

鹿沼市学校施設の長寿命化計画

鹿沼市教育委員会事務局 教育総務課

〒322-0064

栃木県鹿沼市文化橋町 1982-18 市民情報センター 4F

TEL : 0289-63-2238 / FAX : 0289-63-2118

Mail : kyoiku-soumu@city.kanuma.lg.jp

